



みせん

瀬戸内海国立公園

宮島地区パーク

ボランティアの会

発行日

平成15年12月 1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| P2・3 瀬戸内海 3地区
PV 交流会 (於 宮島) | P7 公募観察会 (史跡) 10/19 |
| P4・5 JPR 第2回 8/30~31
於 大久野島国民休暇村 | P8 樹木名板取り付け |
| P6 JPR 第3回 10/25~26
於 戸河内町 深入山 | P9 JICA 研修生 編集後記 |
| | P10 事務局からの連絡事項
PV 行事参加状況、行事予定 |



「葉っぱの思い」

今年の紅葉はどうも今ひとつのようでした、宮島「もみじ谷」でも色づく前に茶色になってしまった株が多かったようです。

美しい紅葉の条件は ①十分な日当たり ②きれいな空気 ③摂氏8度以下の冷気 (特に夜の急激な冷え込み) ④適度な湿度
紅葉の名所はこれらの条件を満たす渓谷などに多いのだそうです。なるほど、今年はいつまでも暖かかったからですね。

この時期、野山を歩くとさまざまな落ち葉を目にします。春先からの長い役目を終えて今静かに土に還っていく。

その最後の晴れ姿が鮮やかな紅葉だとすると、今年はさぞや心を残して散る葉が多いことだろう、などと考えてしまいます。

(広島市西区 三滝寺にて)

(写真・文 山根 浩二)

瀬戸内海3地区 パークボランティア 宮島に集い交流の輪ひろがる

昨年の大久野島に引き続き、瀬戸内海国立公園3地区 PV の交流会が今年は宮島で開かれました。各地区の活動状況の発表や意見交換、岡崎先生の講演、懇親会に翌日の弥山登山まで組み込まれたプログラムに大いに盛り上がり、充実した2日間でした。(松尾 記)

<日 時>平成 15 年 9 月 27 日 13. 00~28 日 12. 00

<場 所>交流会、懇親会 国民宿舎 “杜の宿”

<参加者>環境省 秀田次長、門田利用指導官、香山(岡山)久保田(高松)桧垣自然保護官
鷺羽山地区 PV 6 名 五色台地区 PV 1 名 宮島地区 PV 15 名(交流会)

<講 師>宮島町観光課 岡崎 環 先生

<第 1 日>

○自己紹介と各地区活動状況等

鷺羽山地区は武田会長と藤田副会長が発表しました。今年度より倉敷地区から鷺羽山地区に名称を変更されたとのことでした。

ショッピングセンターでの写真展開催、参加者を飽きさせない新しい観察プログラムの開発、磯の生き物や歴史・自然などの小冊子作成など来年の瀬戸内海国立公園制定 70 周年に向け活発な活動を続けておられ、10 年以上の実績に基づくアドバイスに他地区からも盛んに質問がありました。

五色台地区の活動については帽子につけたカニのクラフトが印象的で VC (ビジターセンター) のスタッフでもある宮下さんが発表しました。活動開始は H14 年と新しいものの、母体となった「かがわ自然観察会」のノウハウを活かし、VC を中心に活発な自然解説活動を行っているとのことでした。

クラフトをベースにした活動資金の調達や地元協議会との連携は環境省スタッフも加わり活発な論議を呼び起こしました。

宮島地区は横山会長と各部会長が発表。

3 地区のなかで唯一の JPR 支援活動、シカの食害対策や登山道の整備、補修、樹木名板の取り付け、手作りの機関紙発行などが他地区の注目を集めました。

3 地区の発表の後、意見交換が行われ、様々な基金からの活動資金の提供や地元自治体との連携のありかた、PV の NPO 法人化の可能性などについて話し合われました。

◇宮島地区参加者◇

(交流会) 足立 池田 小川 末原 中道
中本 古川 舛田 松尾 村上 森
矢吹 山根 横山 六重部 (15 名)

(弥山登山のみ参加) 池下 近藤 野呂田
前田(勲) 丸平 (5 名)

○環境行政の動向について

山陽四国地区事務所 秀田次長から環境行政の動向についての解説がありました。

近年の環境行政の変化から、次長の経験した PV 制度創成期の知床や尾瀬でのレンジャー業務に移り、瀬戸内海とは違った環境下での PV 活動内容は大変興味深いものでした。



“杜の宿”での交流会

○講演会「宮島の動植物と自然環境」

今年度は、お馴染みの岡崎先生が宮島の自然環境について講演されました。宮島の動植物の生態や特徴など自然科学の話題かと思いきや、環境に対する現代日本人の自然観、宮島の信仰や観光の歴史をたどりながら、人々が宮島とどう関わってきたか、そのことで現在の宮島の自然環境や景観がどう形成されていったかについて、樹木の利用や動物を題材にした伝承、宮島の七不思議などについて解説されました。



昨年の西田先生の講演は、近世からの瀬戸内海全体の景観に対する人々の意識の変遷でしたが、今年は昨年の内容を宮島を舞台に具体的に掘り下げ、詳細に解説した内容となりました。

2年連続で他では聞けないハイレベルの内容で他地区からは「来年以降こんな講演はとて企画できない！」とまで言われました。
 <第2日>

○弥山登山 (8:00~12:30)

2日目は屋外プログラムの弥山登山です。宮島 PV 編集・発行のテキストを片手に大聖院ルートに登りもみじ谷ルートを下りました。途中宮島地区 PV が史跡や自然について種々解説し交流を深めました。



参加者全員予定通りの時間に頂上に登り、記念写真を撮りました。もみじ谷での解散時には、皆さん様にさわやかな表情で、有意義な交流会であったことが伺えました。

今回は地区事務所の門田利用指導官と横山会長が企画立案に「杜の宿」職員の花見堂会員が会場手配等に尽力されました。来年はどのような交流会になるのか楽しみです。



ライトアップされた夜の厳島神社探訪

3 地区 PV 交流会を終えて

会長 横山忠司

鷲羽山・五色台・宮島地区 PV 合同交流研修会は、9月27,28日に宮島「杜の宿」等に於いて一泊二日の日程で開催されました。二日間ともとても良いお天気で、二日目の弥山登山の日などは野外活動に、この上ない天気となりました。

交流会の開始、終了時間については自然保護事務所と調整し限られた時間でスケジュー

ュールを決めましたが、各地区参加者各位のご理解とご協力を得て滞りなく開催することができました。

遠方から、ご出席下さいました自然保護事務所・鷲羽山五色台をはじめ、参加の皆様有難うございました。

またお会いできる日を楽しみに各地区 PV の益々のご活躍とご発展をお祈りいたします。

弥山頂上で記念撮影

<実施日>平成 15 年 8 月 30 日 31 日

<場 所>竹原市忠海町 休暇村 大久野島

<参加者> JPR 42名 (6グループ)

子どもパークレンジャー第2回は大久野島で一泊二日を過ごし、海辺の自然や暮らし、歴史文化に触れる中から豊かな感性や自然を大切に
する心、友達や動植物を慈しむ心を育むことを
目的に実施されました。

今年は「海と山をつなぐ環境保全活動」として参加者も戸河内町、廿日市市、旧佐伯町、大野町、宮島町の小学生から募集したため集合場所は宮島口（一部佐伯町）で貸切バスとフェリーで大久野島へ向かいました。

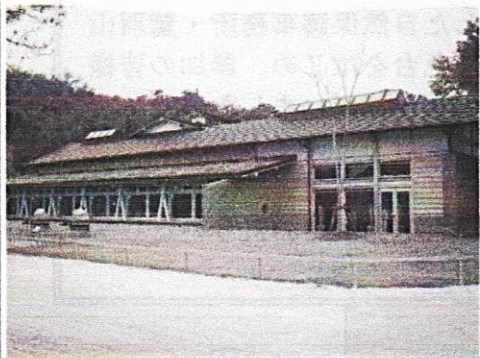
2日間とも時折小雨がぱらつく、あいにくの天候でしたが、4月にオープンしたばかりのビジターセンター内での竹細工、和紙づくり、島内探検、ウミホタルの観察など子どもたちには、すべてが新鮮で貴重な夏休み最後の思い出となったことと思われま

「竹の紙すき和紙と竹の筆づくり」

お馴染み竹原在住 坂元静馬さんの指導により空洞のない「小町竹」を使っての筆づくり。

ビジターセンター

環境省が大久野島の再生、利用促進を目的としたビジターセンターを4月に開設しました。総工費は約7億円、木造平屋建築約760㎡で木材など自然素材の利用や太陽光発電など自然の恵みを取り入れ、全館、環境に配慮した設計になっています。



海辺の自然に

第2回

JPR



宮島地区子どもパークレンジャー

子どもたちは、やはり道具を使って削る、打つのは苦手だ、手許がうまくはかどるかどうかわしい。ここでは手助けが必要だ、あらかじめ竹先を打つ下準備をしてやると、一斉に木槌を打つ大合唱になる。

出来上がった筆を借り書いてみる、墨のかすれ具合に魅せられる。誰もが夏休みの自由作品にするんだと嬉しそうに言っていました。

自分で紙をすき、それに描いた絵と筆を大事

にバッグにしまいこんでいました。



和紙づくり

VCの正面玄関前で参加者全員記念撮影



森の生き物博士をめざせ

第3回 JPR 戸河内

<実施日>10月25日(土)~26日(日)

<場 所>戸河内町

まほろば護岸~深入山麓

<参加者>JPR 36名(6名欠席)

子どもパークレンジャー第3回は戸河内町、深入山麓で一泊二日の自然体験活動を実施しました。

<第1日>

今年は宮島口に集合、3回目ともなれば集合もスムーズ、9:00に貸し切りバスで出発、佐伯町からの参加者と合流し11:00には戸河内町、健康管理センターに到着、水生生物についてスライドで学習したあと、まほろば護岸で川に入り、水生生物の採集、観察、分類を班毎に行いました。



採集した水生生物の観察

15:00過ぎに深入山麓に移動。夕食前に森を散策、小動物のトラップ(罠)を大丸さんの指導で仕掛けました。

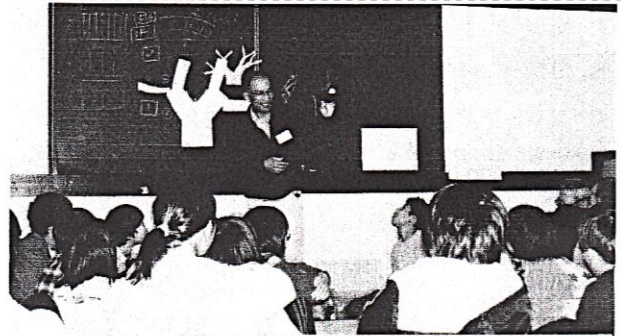


紙を使ったツリーの製作

講師
大丸 秀士
栗栖 浩司

スタッフ
門田利用指導官
桧垣自然保護官
人間科学研究所

PV参加者
志賀所長 内平
中本(1) 前田(勲)(2) 池田(3)
森(4) 池下(5) 村上(6・総括)



大丸さんの森と生き物の話

夕食後は「いこいの村」まで移動中に星空の観察、一斉に入浴。

20:00から大広間で大丸さんの名講義を聞き森と動物の学習をしました。

<第2日>

起床後すぐに前日仕掛けたトラップの観察に出かけましたが、どの班のトラップにも獲物は掛かっていませんでした。

朝食後は栗栖さんの指導で小枝を使った鉛筆作り、モモンガの巣箱製作、森に入って巣箱の設置など自然体験学習で今年度のJPR活動を締めくくりました。

2日間、子どもたちと同行して

素晴らしいと思ったこと。自分から「やり



班毎に巣箱作り

森の生き物博士をめざせ

第3回 JPR 戸河内

<実施日>10月25日(土)~26日(日)

<場 所>戸河内町

まほろば護岸~深入山麓

<参加者>JPR 36名(6名欠席)

子どもパークレンジャー第3回は戸河内町、深入山麓で一泊二日の自然体験活動を実施しました。

<第1日>

今年は宮島口に集合、3回目ともなれば集合もスムーズ、9:00に貸し切りバスで出発、佐伯町からの参加者と合流し11:00には戸河内町、健康管理センターに到着、水生生物についてスライドで学習したあと、まほろば護岸で川に入り、水生生物の採集、観察、分類を班毎に行いました。



採集した水生生物の観察

15:00過ぎに深入山麓に移動。夕食前に森を散策、小動物のトラップ(罠)を大丸さんの指導で仕掛けました。



紙を使ったツリーの製作

講師

大丸 秀士

栗栖 浩司

スタッフ

門田利用指導官

桧垣自然保護官

人間科学研究所

志賀所長 内平

PV参加者

中本(1) 前田(勲)(2) 池田(3)

森(4) 池下(5) 村上(6・総括)



大丸さんの森と生き物の話

夕食後は「いこいの村」まで移動中に星空の観察、一斉に入浴。

20:00から大広間で大丸さんの名講義を聞き森と動物の学習をしました。

<第2日>

起床後すぐに前日仕掛けたトラップの観察に出かけましたが、どの班のトラップにも獲物は掛かっていませんでした。

朝食後は栗栖さんの指導で小枝を使った鉛筆作り、モモンガの巣箱製作、森に入って巣箱の設置など自然体験学習で今年度のJPR活動を締めくくりました。

2日間、子どもたちと同行して

素晴らしいと思ったこと。自分から「やり



班毎に巣箱作り

たい」「やる」気持ちを仲間（メンバー）全員で体験を分かちあおうとする行動が巣箱作りの



巣箱の取り付け

のとき見られました。以前、清里のインタープリター研修で、興味を持たし、好きになったら、詳しく知りたくなり、守ってやるのがインタープリターの役目だとの言葉を思い出しました。

ヒヤッと

した事はクラフトの鉛筆作りで右利きの者は左手の親指を使う小刀使いのコツを教えたところ小刀の刃と背を反対に使おうとする子がいたのには吃驚。

食事の遅い子を待つ忍耐も体験し、今回の参加で少しでも多くの若い芽に自然のすばらしさを教え、共に生きていく知恵を身につけさせる、お手伝いできて有意義でした。

(池田 記)



活動のまとめとふりかえり

◇ お知らせ ◇

次号発行日 平成 16 年 3 月 1 日
原稿締切日 1 月 末日

今年も盛況でした

公募観察会（歴史と文化探訪会）

日 時 10 月 19 日（日）9:00～15:30

場 所 大聖院ルート～弥山頂上巡り

参加者 岩崎 小川 中道 野呂田 平山
村上 横山 （ 7 名 ）

一般公募参加者 19 名

9 才の小学生から、70+αの熟年おじさんまで今年も多士済々の老若男女 19 名に参加していただきました。

9:00 丁度に出発、まずは厳島神社境内へ。ここで宮島八景 御笠の浜や鏡池のいわれや、神霊を招くというオガタマノキを探勝。中道会員のいつもの熱情こもる名解説をききながら滝町棚守屋敷、大聖院山門をへて3丁滝宮神社からは急坂を登る。

11 時によりやく 6 丁里見茶屋跡展望地へ。瀬戸内海国立公園の壮大で立体的な景観を堪能、昔ここでは割烹着のよく似合うお婆ちゃんが、力餅を振舞っていたそうです。

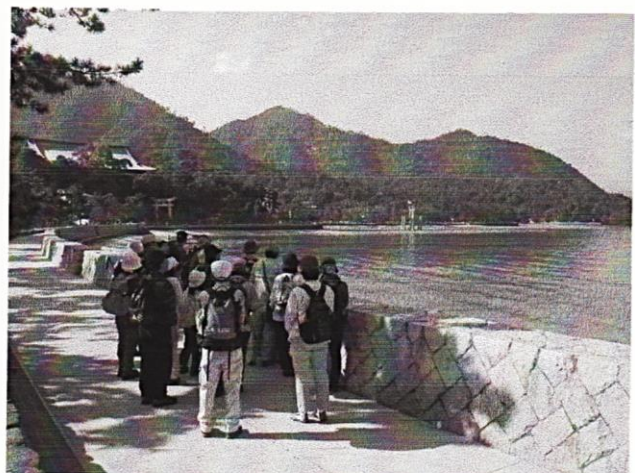
10 丁賽の河原、18 丁の台風 18 号で崩壊したままの仁王門跡を見ながら 12:30 分 21 丁弥山本堂へ到着。・・・昼食・休憩

ひと汗かいた体にモミ・カヤの樹林を通り抜ける涼風がなんとも心地よい。

弥山本堂内を見学し 24 丁弥山山頂へ。史跡や弥山七不思議の干満岩を巡ったあと、もみじ谷道の急坂を下山。

天気にも恵まれ素晴らしい観察会でした。

(村上 記)



中道さんの説明を聞く参加者

散策道の樹木名板

取り付け終わる 109種567枚

3月から宮島町内、主要散策道沿いの樹木名板取り付け作業を続けてきましたが、10月17日(金)に第4回目の作業を実施し、杉の浦旧道及び宮島棧橋～杉の浦神社までの県道の樹木162本のうち8月に仮止めした97本の取り付け作業を終えました。

第4回目参加者

末原 中道 中本 平山 前田(勲) 森川 森広 柳瀬 矢吹 (9名)

この結果4回の合計取り付け枚数567樹木種類は109となりました。多かったのはミミズバイの40本がトップでシキミ28本、アセビ26本、モミ23本、クスノキ21本と続いています。

地区ごとの内訳は次の通りです。

	取り付け場所	本数
1	杉の浦旧道～森脇木材～県道	162
2	胡町～行者山 新町～うぐいす道～もみじ谷	207
3	藤の棚公園～荒神原	44
4	大元公園～アセビ歩道～滝橋	154
	計(109種)	567



なお名板を取り付けた樹木名と配置図を地区ごとに作成し宮島詰所に保管していますから興味のある人は閲覧してください。

(末原 記)



杉の浦旧道沿い「シロダモ」

自主観察会(自然観察)

弥山尾根筋道を探索(その2)

日時 9月10日(水) 9:00 詰所集合

参加者 池下 小方(嗣) 島 新川 野呂田 前田(勲) 村上 (7名)

前日までは晴天が続いていたのに夜半から大雨、降水確率60%、大雨注意報も発令されているのに集まった熱心な会員7名の情熱が予報を覆し雨は止みました。

まずは山辺の古径でマツに寄生したマツグミを観察し、もみじ谷公園へ、弥山主稜尾根筋コースが今回の登山コースですが、シキミの木が続きます。シキミは毒があるからシカが食べないから増えたのでしょうか。シャシャンボにたくさんの実がついていました。熟した頃だとジャムができるんだが。きのこもたくさん見ました。きのこ博士の前田さんに食べられるきのこを聞いてお土産にした人もいました。

春には朝日観音にお参りしましたが、今回は異常な暑さの中やっとの思いで夕日観音にお参りすることができました。ここから弥山頂上まで約30分で到着。このルートは石段もなく大岩もなく、踏み跡もしっかりしていて歩きやすい道です。頂上で昼食、休憩のあと1回目の逆コース・博打尾コースを下山しましたが、こちらはママコナが花盛りです。時々薄日もさし、雨が降らなかったことを喜

び合いました。しかし凄い暑さで頂上で着替えた人もすぐ汗びっしょり、必要でなかった雨具が重くて余計に暑さを感じたのかも知れません。

帰宅後すぐに入浴、その気持ちのいいこと、そしてビールのうまいこと・・・外ではがまんしてくれていた雨が降り出しました。

(小方 嗣彬 記)

観察部会「石造物調査」

日 時 9月23日(祝) 9:00~15:00

場 所 大元登山道・奥の院

参加者 足立 池下 岩崎 末原 中道
古川 村上 森 森川 (9名)

今年1月の大聖院ルートに続き、大元ルート・奥の院の石造物、主に町石の測量調査を行いました。

このルートは「宮島町史」には殆ど記載が無かったものの仁王門までの二十三丁中 20 基が現存、位置もほぼ正しく、保存状態も良く残っていました。新事実としては

- 1、現大元登山道ではなく、西側大元川沿いに旧道があり、2基が存在していた。
- 2、奥の院には「宮島町史」によると「奥の院三十一丁」とあるが、実際は「二十八丁」？が存在していた。

奥の院往復後、前回調査済みの大聖院ルートを下山しましたが、江戸期の町石にも何種類かあり、調べるほど新たな疑問が湧いてきます。

今回はもみじ谷ルート及び大聖院ルート・頂上付近の再調査を行った上、地図へのマッピングを行う予定にしています。(岩崎 記)



奥の院での参加者

JICA 研修生が宮島でフィールドワーク

日 時 10月30日午後

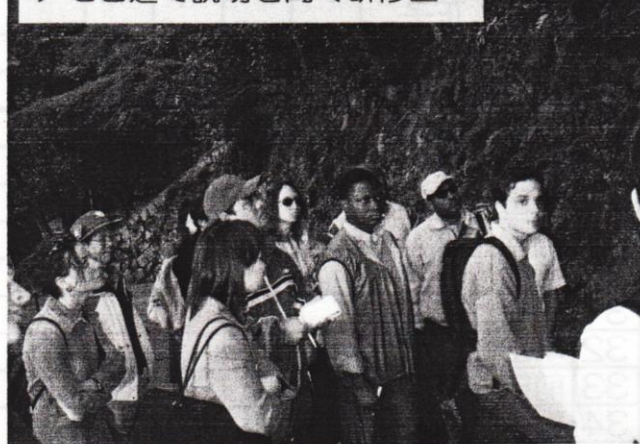
研修生 コスタリカ、モンゴル、カメルーン等 11ヶ国、12名

PV 横山 村上 足立

JICA(独立行政法人 国際協力機構)が開発途上国の観光関連行政官を対象に実施している研修の一環として、宮島パークボランティアへのヒアリングが行われました。

大聖院からアセビ歩道、大元までのルートを歩きながら横山さんが宮島の自然環境、景観、PVの役割、実際の活動内容について懇切丁寧に説明、最後には横山さんの口利きで予定になかった水族館にも案内しました。研修生には大変好評で感銘した様子でした。

アセビ道で説明を聞く研修生



◇ 編集後記 ◇

▼JICAの研修生が宮島でヒアリング、後日研修活動の報告も聞きましたが、彼らは一様に宮島ほどの観光資源があるのに海外からの来訪者が少ないことが不思議だと言っていました。また彼らは皆、英語を自国語のように使っているのに感心しました。これからはPVも国際感覚を身につけ、少しは英会話ができるようにならなければと思いました。▼今年も残りわずかです。国内も国外も不安、不穏の日々が続いていますが、来年はどんな年になるのでしょうか、会員の皆様、月並みですが、良いお年を。(足立)

◇ 事務局連絡事項 ◇

PV行事参加者一覧

NO	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥
2	足立 清		○	○	○		
3	池下 宏	○	○		○		
4	池田 靖夫			○			
6	岩崎 義一		○				○
7	小方 為子						
8	小方 嗣彬	○					
9	小川 加代			○			○
13	近藤 芳子				○		
14	島 千代喜	○					
15	新川 博	○					
16	末原 義秋		○	○	○	○	
17	高光 幸三						
18	竹内 栄太郎						
19	谷口 和昭						
20	田村 博子						
21	中道 勉		○	○		○	○
22	中本 章治			○		○	
23	名越 正子						
24	野呂田 恵子	○			○		○
25	花見堂 英延				○		
26	浜本 良子						
27	東丸 久						
28	平田 広三郎						
29	平山 美知子					○	○
30	佛崎 勝弘						
31	古川 義文		○	○			
32	本田 隆徳						
33	前田 勲	○			○	○	
34	前田 正人						
35	舛田 祐子			○	○		
36	松尾 健司			○	○		
37	丸平 健二				○		
38	宮崎 春雄						
39	村上 光春	○	○	○	○		○
40	森 明彦		○	○			
41	森川 範吾		○			○	
42	森広 香代子					○	
44	柳瀬 佳史					○	
45	矢吹 浚一			○	○	○	
46	山根 浩二			○	○		
47	横山 忠司			○	○		○
48	吉川 直樹						
49	六重部 篤志			○			
		7	9	15	14	9	7
	桧垣自然保護官			○	○		

- ①宮島植物観察会 9/10 (水)
- ②石造物調査 (下見) 9/23 (祝)
- ③PV 交流会 9/27 (土)
- ④同上 弥山登山 9/28 (日)
- ⑤樹木名板取り付け 10/17 (金)
- ⑥宮島の史跡探訪 (公募) 10/19 (日)

◇ 行事予定 ◇

- 部会打ち合わせ
12月6日(土) 12:30 集合
宮島町役場2階会議室
- 研修会 (厳島学講座受講)
12月6日(土) 14:00~15:30
宮島町役場3階会議室
(部会打ち合わせ終了後)
- 弥山登山道の清掃、補修
平成16年1月24日(土)
時間等詳細は追って連絡
- 自主観察会 (植物)
2月8日(日) 詳細未定
- コバンモチ保護網の点検、保全
及び岩船岳登山
2月21日(土) 時間未定
- ◇幹事会の開催予定◇
1月17日(土) 10:00~
2月14日(土) 10:00~
場所 宮島詰所

瀬戸内海国立公園

宮島地区 パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局
広島自然保護官事務所
(〒730-0012)
広島市中区上八丁堀6番30号
広島合同庁舎2号館6階
TEL/(082)223-7450・FAX(082)223-7451
宮島詰所
(〒739-0505) 佐伯郡宮島町1862-18
(宮島栈橋2F)